

発表タイトル(ゴシック体)

Title in English (必須)

○徳川江 (G. Tokugawa)¹⁾、京極初¹⁾、豊臣茶々³⁾
江戸大工学部¹⁾、琵琶湖大院²⁾、淀川工大³⁾

【緒言】

いただいた原稿をそのまま版下として使いますので、きれいなものをお送りください。
とくに写真^①は鮮明なものをお願いいたします。

本文 和文：明朝 10.5pt、英文：Century 10.5pt

【実験方法】

印刷はすべて白黒です。

各自で白黒コピーして、出力をご確認ください（うすい色を使用したグラフはとくに注意）。

原稿はカラーで作製してもかまいません。

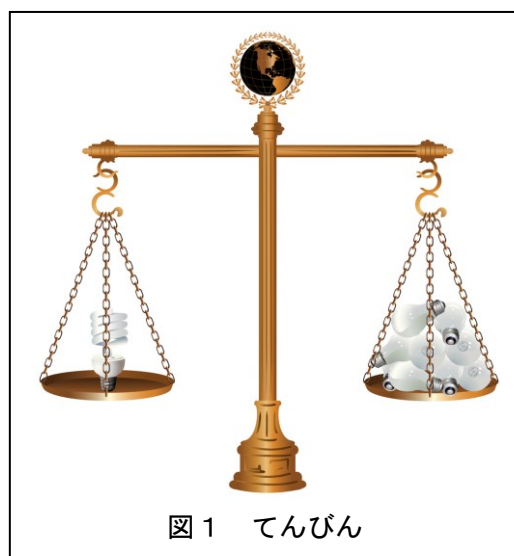


図1 てんびん

【結果・考察】

要旨原稿 A4版 2ページ（1ページや3ページは不可）

締切 2026年11月13日（金）必着

PDF ファイルをメールで送付（他形式ファイル不可）

送付先： sympo2026@rs.tus.ac.jp

件名： 「要旨原稿(氏名_発表分野)」

発表セッション記号を1 つ選択	A. 水素生成	G. 燃料電池
	B. 環境浄化	H. 有機/無機ハイブリッド
	C. 抗菌・抗ウイルス	I. ナノ材料
	D. セルフクリーニング	J. 化学センサ
	E. 二次電池 (Li, Mg)	K. 計算科学
	F. 二次電池 (Na, K)	

例) 徳川江が「A. 水素生成」のセッションで発表する場合、ファイル名は「要旨原稿(徳川江_A)」になります。

【結論】

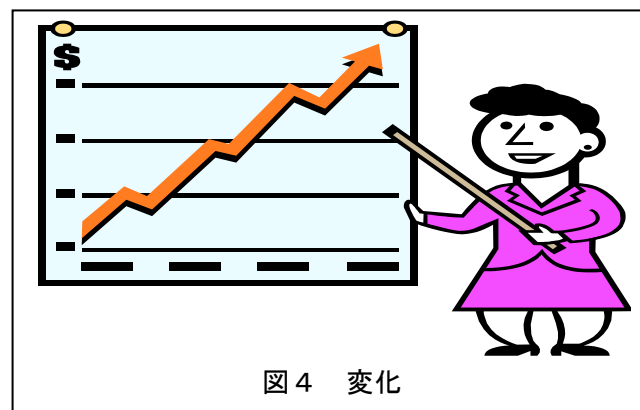
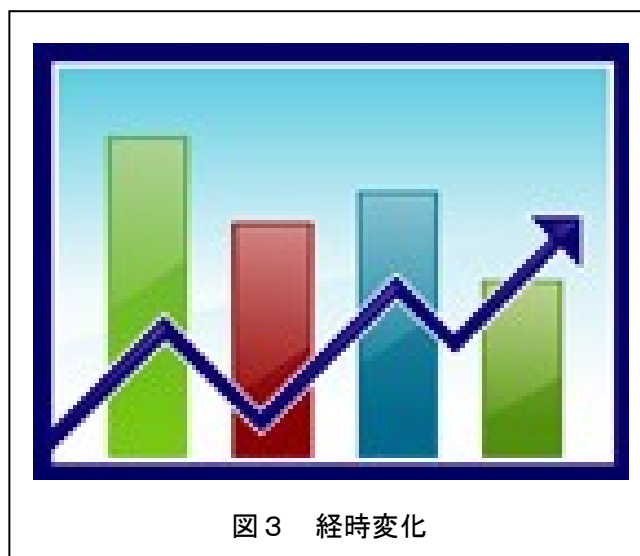
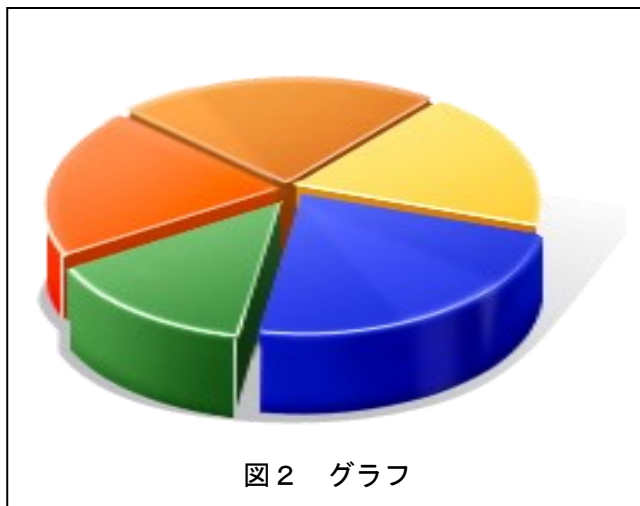
これより遅れたものは、要旨集に掲載できないこともありますので、ご了承ください

発表申込提出時より変更がある場合は、要旨原稿で確定してください。要旨原稿を元に校正します。とくに連絡は不要です。

こちらで出力したときに不都合があったときには、紙ベースで郵送していただくことがあります。

図は必要なだけ入れてください。

このテンプレートの通りのレイアウトでなくてもかまいません。



【謝辞】

【参考文献】

(2 ページめの下部)

連絡先――

徳川 江

江戸大学工学部応用化学科

〒123-4567 東京都江戸市千代田 8-9-10

TEL 0412-34-5678 FAX 0412-34-5679

e-mail g-toku@edo-u.ac.jp (発表者または代表者連絡先を明記のこと)